



東邦大学医学部 寄付講座設置一覧

2024年4月1日現在

| 講座名 | 寄付者 | 設置期間 | 設置目的 |
|----------------|--|-----------------------------|---|
| 自然・生命・人間先端医学講座 | 公益財団法人額田医学生物学研究所 | 2024/4/1～2025/3/31 (1年間) | 学祖ゆかりの額田医学生物学研究所の地で、東邦大学建学の精神である「自然・生命・人間」をその理念として仰ぎ、大自然への畏敬の念とあらゆる生命に対する尊敬の心をはくみながら、一人でも多くの人間の幸せにつながる医学の先端的研究を指導し発展させることを目的とする。 |
| 形成外科先端治療学講座 | 和田 成史 | 2022/4/1～2025/3/31 (3年) | 本講座では第1の研究課題として、女医であると同時にビジネスコンサルタントや一般企業でメンタルヘルスを管理する産業医の立場から、外科系専門医資格を目指す女性医師が直面する様々な課題を抽出し、医療・社会・経済・情報科学・ダイバーシティの視点から多角的に分析して、既存研修プログラムの枠組みにとらわれない解決策モデルの樹立を目指す。さらに、形成外科医の立場から当教室の主要研究課題である顔面神経麻痺、および足部難治性潰瘍に関する先進的研究を進めていく。 |
| 眼疾患先端治療学講座 | HOYA(株) 千寿製薬(株) | 2024/4/1～2027/3/31 (3年間) | 本講座は難治性眼疾患の先進的な診断・治療のための研究を進展させ先進的な治療に関わる研究を重点的に行う部門として開設している。 |
| 免疫疾患病態制御学講座 | 日本ベーリンガーインゲルハイム(株) 旭化成ファーマ(株) 日本化薬(株) アポットジャパン合同会社 アツヴィ合同株式会社 あゆみ製薬(株) | 2022/10/1～2025/9/30 (3年) | 本講座は膠原病・リウマチ性疾患を初めとした自己免疫疾患の病態解明や治療開発を行うこと目的として2019年10月に開設した。今後も研究を継続し、病態解析と、そこから見出された結果が新規治療法の開発や治療選択に結びつく研究を行っていくため、さらに研究体制を充実させ、研究がさらに迅速かつ積極的に進められることを目指す。 |
| 生体侵襲制御学講座 | 医療法人社団 福寿会 | 2022/10/1～2027/9/30 (5年) | 本講座では記憶の保持などの深く関与する介在ニューロンの変化が高次脳機能障害に寄与しているのかどうかさらに研究を進め、高次脳機能障害発症メカニズムを解明していくとともにその予防、治療につなげて行くことを目指す。さらに、危機的状況にある基礎分野の医学研究を活性化し、臨床を継続しながら基礎研究を行うモデルケースを担っていく。 |
| 循環器疾患低侵襲治療学講座 | ポストン・サイエンティフィックジャパン(株) 日本ライフライン(株) 大塚メディカルデバイス(株) (株)カネカメディックス テルモ(株) ニプロ(株) パイオトロニックジャパン(株) 朝日インテック(株) | 2023/4/1～2028/3/31 (5年間) | 本講座ではガイドライン、適正使用指針の改定に資するエビデンスの構築のため、規制当局と相談・指導のもと、信頼性の持てるリアルワールドデータ(RWD)を構築し、申請することを目指す。また、本邦で承認されたdrug coated balloon, shock waveなどの治療デバイスの医師主導臨床研究を統括し、その成績に基づいた添付文章の改訂、診療指針の改訂を目指す。さらに、フレイル評価指標の確立のために、入院症例を対象に簡便性、識別性、再現性、有益性などの評価指標でフレイルを評価し、臨床的転帰との関係を明らかにする。加えて、臨床前試験の標準化のため、前臨床試験に用いられるモデルを標準化し、評価可能な範囲を明確にすることを目指す。 |
| 真菌感染病態解析・制御学講座 | (株)サンリツ | 2023/4/1～2026/3/31 (3年間) | 本講座では侵襲性真菌症に対する早期かつ精度の高い診断法の開発と病態のモニタリング並びに適切な治療法の選択に必須となる真菌症の感染病態の解明を目的とした研究を総合的に推進することを目指す。また、これによって派生する新規診断法の開発や後方視的発生動向等について研究を推進することも目的とする。 |
| 東邦大学医学部小児腎臓学講座 | 医療法人社団明洋会 医療法人社団樺会 医療法人社団善仁会 医療法人社団三清会(予定) | 2024/4/1～2029/3/31 (5年間) | 小児の腎移植治療を専門とする施設は全国的にも少ないため、東邦大学医療センターでは、全国各地から多くの腎不全患者さんの紹介を受け入れている。当院では年間20例前後の小児腎移植を行っており、本邦で行われている小児腎移植の約25%(国内第一位)に相当する。小児慢性腎不全患児に対する治療(腹膜及び血液透析・腎移植など)、小児の腎障害の原因となりえる先天性尿路異常の外科的治療を行っていくことを目的とする。 |
| ウェルビーイング地域共創講座 | 大田区 | 2024/4/1～2025/3/31 (1年間) | 大田区と東邦大学医学部が連携して地域の健康・保健課題に取り組み、区民のウェルビーイング実現に資する活動を行う。 |